



## ポート単位の MTU の設定

- [ポート単位の MTU の制約事項 \(1 ページ\)](#)
- [ポート単位の MTU について \(1 ページ\)](#)
- [ポート単位の MTU の設定 \(2 ページ\)](#)
- [例：ポート単位の MTU の設定 \(3 ページ\)](#)
- [例：ポート単位の MTU の確認 \(3 ページ\)](#)
- [例：ポート単位の MTU の無効化 \(3 ページ\)](#)
- [ポート単位の MTU の機能履歴 \(4 ページ\)](#)

## ポート単位の MTU の制約事項

- ポート単位の MTU は、管理ポートでは設定できません。
- ポート単位の MTU は、SVL リンクでは設定できません。
- ポートチャネルのメンバーはポート単位の MTU を使用して設定できません。ポートチャネルの MTU 設定から MTU を取得します。
- ポート単位の MTU は、サブインターフェイスとポートチャネルサブインターフェイスではサポートされていません。

## ポート単位の MTU について

**system mtu** コマンドを使用して、デバイス上のすべてのインターフェイスの MTU サイズを同時に設定できます。すべてのインターフェイスで送受信されるフレームのデフォルト最大伝送単位 (MTU) サイズは、1500 バイトです。**system mtu** コマンドはグローバルコマンドであり、MTU をポートレベルで設定することはできません。Cisco IOS XE 17.1.1 以降では、ポート単位の MTU を設定できます。ポート単位の MTU はポートレベルとポートチャネルレベルの MTU 設定をサポートします。ポート単位の MTU を使用すると、異なるインターフェイスと異なるポートチャネルインターフェイスに異なる MTU 値を設定できます。

ポートにポート単位の MTU 値が設定されると、そのポートのプロトコル固有の MTU もポート単位の MTU 値に変更されます。ポート上でポート単位の MTU が設定されている場合でも、インターフェイス上でプロトコル固有の MTU を 256 からポート単位の MTU 値の範囲で設定できます。

ポート単位の MTU が無効になっている場合、ポートの MTU はシステムの MTU 値に戻ります。

**show interface mtu** コマンドを使用して、インターフェイスのポート単位の MTU 設定を表示できます。

インターフェイスでポート単位の MTU 設定が変更された場合は、次のような動作が予期されます。

- ポートチャネルが PAgP モードか LACP モードの場合、インターフェイスがフラップしません。
- ポートチャネルが **on** モードの場合、インターフェイスはフラップしません。
- インターフェイスがポートチャネルでない場合、インターフェイスはフラップしません。

インターフェイス コンフィギュレーションモードで **mtubytes** コマンドの **no** 形式を使用して、ポート単位の MTU を無効にできます。

## ポート単位の MTU の設定

インターフェイスの特定のポートのスイッチドパケットの MTU サイズを変更するには、次の手順を実行します。

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>enable</b> 例： Device> <b>enable</b>	特権 EXEC モードを有効にします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• パスワードを入力します（要求された場合）。</li> </ul>
ステップ 2	<b>configure terminal</b> 例： Device# <b>configure terminal</b>	グローバル コンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 3	<b>interface</b> <i>typeswitch-number/slot-number/port-number</i> 例： Device(config)# <b>int</b> <b>FortyGigabitEthernet2/5/0/20</b>	インターフェイスを設定し、インターフェイス コンフィギュレーションモードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 4	<b>mtu bytes</b> 例： Device(config-if)# <b>mtu 6666</b>	インターフェイスの特定のポートの MTU サイズを設定します。
ステップ 5	<b>end</b> 例： Device(config-if)# <b>end</b>	特権 EXEC モードに戻ります。

## 例：ポート単位の MTU の設定

次に、インターフェイスでポート単位の MTU を設定する例を示します。

```
Device# configure terminal
Device(config)# interface FortyGigabitEthernet2/5/0/20
Device(config-if)# mtu 6666
Device(config-if)# end
```

## 例：ポート単位の MTU の確認

次に、**show interface mtu** コマンドを使用してインターフェイスのポート単位の MTU を確認する例を示します。

```
Device# show interface mtu
Port          Name          MTU
Fo2/5/0/19   Name          1500
Fo2/5/0/20   Name          6666
Fo2/5/0/21   ixia_7_21    1500
```

## 例：ポート単位の MTU の無効化

次に、インターフェイスでポート単位の MTU を無効にする例を示します。

```
Device# configure terminal
Device(config)# interface FortyGigabitEthernet2/5/0/20
Device(config-if)# no mtu
Device(config-if)# end
```

## ポート単位の MTU の機能履歴

次の表に、このモジュールで説明する機能のリリースおよび関連情報を示します。

これらの機能は、特に明記されていない限り、導入されたリリース以降のすべてのリリースで使用できます。

リリース	機能	機能情報
Cisco IOS XE Amsterdam 17.1.1	ポート単位の MTU	ポート単位の MTU は、特定のポートまたはポートチャネルで送受信されるフレームの最大伝送ユニットサイズを定義します。 。

Cisco Feature Navigator を使用すると、プラットフォームおよびソフトウェアイメージのサポート情報を検索できます。Cisco Feature Navigator には、<http://www.cisco.com/go/cfn> [英語] からアクセスします。

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。